

事業所名 グループホーム ももたろう

日付 平成 21 年 6 月 9 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 医療機関経営者
実務経験10年以上

高齢者福祉・医療における
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

ドアを開け、一歩足を踏み入れると、そこには雛人形と梅の花の生け花が我々を驚かそうと鎮座して待ち構えていた。そしてその壁には、理念が記されていて、今年度の法改正に合わせたグループホームももたろうの方向性や組織構築、職員連携・協働、新しい職員の教育等に力を注ぐ代表者の心意が見えた。そして、経営以外の事は管理者やケアマネージャーに任せ、職員も入居者の方々の目線で、より良い環境とは何かを追求している姿も見受けられた。「心豊かに過ごしてもらおう」という思いから、入居者らしく自分のペースで出来ることや得意なことはやってもらう姿勢を重視した職員の介護に取り組みも感じられた。例えば、食後の食器引きや洗濯物たたみ等、力に満ちた入居者の方には見守りを重視していた。入居者にとっても職員にとっても重要である食事は、入居者の意見を取り入れた彩り豊かなメニューであり、ユニットごとにメニュー内容は異なっていて、それぞれバランスの取れた献立が食欲を引き立てていた。食事中も入居者との会話を楽しみながら、食べこぼしや食べ残しのチェックも行い、温かい食卓が垣間見ることができた。また、食事前の手洗いや食後の服薬においても、しっかりと管理がなされていた。

訪問調査当日、社長室へタイムカードを押すために入ってきた職員と代表者とのさりげない会話(挨拶)が今の施設を象徴するかのようだった。また、これにより代表者は職員と太いパイプを築き、ささいな問題やトラブルの解決にも積極的に参加することで、職員との交流や管理者の安心感に繋がり、今後は現場を後ろから支える組織作りにも邁進できる体制が徐々に整ってきているように感じ、前向きな姿勢がみられた。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

入居者との会話のやりとりは重要であるので、どんなに忙しい時でも、最後まで入居者の考えや要望等を尊重しながら、聞き入れる姿勢をもう一度再確認してほしい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>代表者は思いを共有するスタッフが利用者の世話をゆっくりとこなし、心豊かに過ごせるグループホームを目指しています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入居者に合わせた介護に取り組むべく、介護レベルによるユニット分けを検討している。また、生活環境になじめない入居者の為に、家族と密に話し合える機会を設けるように努力している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>職員は入居者に対して、経験や尊重を踏まえながら、その人なりの生活を送ってもらうことを第一に考え、出来る事や得意な事は各自で行ってもらうように心掛け、見守りに徹している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>内部の事故報告書として「ヒアリハット報告書」を作成し、事故事例に基づく対応や対策を職員同士で考え、今後のサービス向上に繋がられる様に取り組んでいる。</p>		